

専門外来のご案内



睡眠時無呼吸外来

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が止まりかける状態(低呼吸)や何度も呼吸が止まった状態(無呼吸)が繰り返される病気です。その結果、体に取り込まれる酸素の量が少なくなってさまざまな臓器に障害をもたらします。

睡眠障害(熟睡できない)によって活動性が低下し、仕事など社会生活にも影響を及ぼすだけでなく、生活習慣病(肥満、高血圧、糖尿病、心疾患など)の発症と悪化に深く関与しています。

● 代表的な症状は以下のとおりです。お早めに診察をお勧めします。

- ①いびきをかく (ご自身で自覚が無くても、指摘されたことがある)
- ②日中に眠気を感じる
- ③朝起きたときに頭痛がある
- ④いつも熟睡感が無い



診療案内

● 第1・3・5 金曜日

午後2時～3時

● 担当医： 循環器科 志村亘彦先生